

令和7年度 医療管理研修会 (2025.11.18) 抄録

「見えてくる！ 👁️ 院長先生にお勧めしたい

局所麻酔時の全身管理法の流儀 in 始良&伊佐 Part 9」

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 歯科麻酔全身管理学分野

杉村 光隆

毎年機会を与えていただく本講演も **Part9** となり、心より感謝を申し上げます。

コロナ禍は医学的には未だに完全終息には至らず、医療従事者としては、震災対策と同様、手指衛生、マスク装着・咳エチケット、3密回避、換気など、基本的な感染対策を通じてパンデミックに、ごく自然に備えたいものです。

さて、今回の講演は例年同様、『感染対策』、『医療安全』、そして『全身管理』の3本立てでまいります。ただ、私事で恐縮ですが、今年度が退官年度となり、益々頑張る所存です。その意味で、特に日常臨床で一番遭遇する頻度が高い高血圧症例に対する局所麻酔下での侵襲的治療時の全身管理について、いわば私の現役の集大成と位置付けるメッセージを、改めてお伝えしたく存じます。これは8月の南九州歯学会での講演と重複いたしますが、お伝えしたい骨子となるメッセージは、時代は変わっても大きく変わるものではないと思います。

今回は、始良地区と伊佐地区の両歯科医師会による共催と伺い、歯科医療関係者の全身管理能力を高める意識が共有され、少しでも患者様の利益が増えることを願っております。釈迦に説法のような講演内容で誠に恐縮ですが、月並みであるが故にごく普通の感覚、スタンスでニューノーマルを堅固にしておくことが、超高齢社会ならびに福祉社会への備えになります。限られた時間でいつも駆け足になりますが、今一度、安心・安全で快適な歯科医療に向けての思い・考え方を再認識する機会としていただけたら幸いです。